

9月3日(金曜日)

ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## 米雇用統計次第

### 2日(木)の主な推移



期間：2日(木)午前6時～3日(金)午前6時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所：外為どっとコム

①

前日のNY株高を好感して日経平均株価が150円近く上昇して寄り付くと、リスク回避ムードが後退し、ユーロ/円は108.24円まで上昇した。豪ドル/円も同様の動きから一時76.80円台を回復したものの、その後発表された豪7月貿易収支が予想を下回る黒字額となった事を嫌気して豪ドル売りが強まると、豪ドル/円は76.14円まで下落した。日経平均株価が上げ幅を縮小した事もあり、クロス円は全般的に軟調となり、ユーロ/円も107.50円まで下落した。

②

スウェーデン中銀が利上げを発表するとユーロ/スウェーデンクローナ相場でユーロ安が進行した。これに連れてユーロ/円は107.45円、ユーロ/ドルは1.2775ドルの安値を付けた。しかし、その後行われたスペインの国債入札で落札利回りが前回に比べて低下するなど好調な結果となった事や欧州中央銀行(ECB)の理事会で2010年のユーロ圏国内総生産(GDP)予測をこれまでの0.7～1.3%から1.4～1.8%に上方修正した事などを好感しユーロ/円は108.30円、ユーロ/ドルは1.2847ドルまで上昇した。

③

米新規失業保険申請件数や7月中古住宅販売保留が予想以上の良好な結果となった事で、米国景気の先行きに対する不安がやや後退したとしてNYダウ平均が堅調に推移すると、クロス円も堅調に推移し、豪ドル/円は76.88円の高値を付けた。ただ、翌日に米雇用統計を控えている事もあり、積極的な売買は手控えられ、上値は限定的であった。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2670-1.2930ドル  
 ユーロ/円 : 106.50-109.50円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円 : 75.90-78.10円

週末金曜日の取引となり、NY時間には米雇用統計の発表を控えていることから、日中は積極的な売買が手控えられる可能性が高く、本日のユーロ相場はあくまでも、米8月雇用統計の結果次第となりそうだ。米雇用統計が強い結果になった場合、瞬間的にはドル買い・ユーロ売りで、弱い結果にはドル売り・ユーロ買いで反応すると考えられる。ただ、その後のNY株価の動向次第ではユーロ/ドルの動きが反転する可能性もあり、荒い値動きが予想される。(神田)

本日は21時30分に発表される米8月雇用統計が最大の焦点となる。1日に発表された8月ISM製造業景況指数の改善などを受けて、米国景気の先行きに対する懸念はやや和らいでいるようで、NYダウ平均も昨日まで3連騰となっている。今日の雇用統計も好結果となれば、株価の上昇が見込まれ、豪ドル/円も上値を試す展開となりそうだ。一方で、雇用統計の弱い結果は、株価の下落を受けてリスク回避の動きを強める可能性が高く、豪ドル/円の下落要因となる。米雇用統計では、非農業部門雇用者数には政府の臨時雇用(国勢調査要員)の影響が残るため、民間部門雇用者数の数字に注目しておきたい。(神田)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
9/3(金)	18:00	○	(ユーロ圏) 7月小売売上高 [前月比]	± 0.0%	+0.2%
	21:30	◎	(米) 8月非農業部門雇用者数	-13.1万人	-10.5万人
	21:30	◎	(米) 8月失業率	9.5%	9.6%
	21:30	◎	(米) 8月民間部門雇用者数	+7.1万人	+4.0万人
	23:00	◎	(米) 8月ISM非製造業景況指数	54.3	53.2

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com